



令和7年度 高雄日本人学校

愛河

校訓 「高雄の子ども」 たくましい子 考える子 思いやりのある子



学校だより 9月号

令和7年8月19日

文責 校長 堀山 知基

1学期後半がスタートしました！

長かった夏休みが終わり、昨日18日(月)に夏休み明け集会を開きました。この夏休みは大雨や台風の影響で停班停课となる日がありましたが、児童生徒に大きな事故や怪我がなく、元気に夏休み明け集会を迎えられたことが何よりでした。きっと夏休みに各ご家庭で打ばらしい夏休みの思い出、そして、受験対策の学習の成果が得られたことと思います。さて、夏休み明け集会では、校長から次のような講話を行いました。



夏休み中は「家族と過ごす時間を大切にする」、「生活のリズムを大切にする」、そして「命を大切にする」の三つをしっかりと守ることができたと思います。さて、1学期の後半は36日間の登校日数です。この期間に期末・実力テスト、児童生徒会役員選挙、校外学習、運動会練習が行われます。もちろん、日々の学習も大切です。これらの活動や学習を通して「できるようになった!」「わかった!」という達成感を味わうとともに、自分の意見をしっかりと述べることで「話す力」を高めてください。また、生活面では、まだまだ暑い日が続きますので、健康面や熱中症に十分に注意しながら、周りの人への「思いやり」「やさしさ」「気遣い」を大切にして、楽しく充実した1学期後半となるよう頑張ってください。

そして、各学年の代表児童生徒も以下のような挨拶を述べました。

◇夏休みにお買い物がたくさんできたことが楽しかったです。

【小学部 Nさん】

◇パソコンを使った学習では、ブラインドタッチができるようになりたいです。

【小学部 Tさん】

◇そろばんで上位の段を取ることに、今月の囲碁の大会で良い成績が出せるよう頑張りたいです。

【小学部 Nさん】

◇日台フルーツ祭りでの和太鼓演奏では、学年間の縦の絆を深めたとともに、台湾と日本の友好関係の発展に貢献できました。夏休み中の経験を生かし、お互いの立場を尊重することや語学学習を頑張っていきます。

【中学部 Iさん】

夏休み明けで気持ちの切り替えがなかなか難しい中、しっかりと講話に耳を傾ける児童生徒の姿、そして、夏休みに子供たちが貴重な経験をしたとともに、1学期後半に向けて自分なりの目標をもっていることを見聞きし、大変うれしく思いました。1学期後半の子供たちの頑張りや期待するところです。保護者の皆様におかれましても、本校の教育活動へのご理解とご協力を、引き続きよろしくお願いたします。

台日フルーツ祭りに出演しました！

7月26日(土)、高雄市海音館周辺で開催された台日フルーツ祭りのステージ部門に、本校中学部の生徒が和太鼓演奏で出演しました。昨年度に引き続き2回目の出演となりましたが、当日は大変多くの観客が詰めかけており、中学部生徒にとって、この上ない発表の機会となりました。今回の演奏には卒業生の協力もいただき、普段とは一味雰囲気の違い和太鼓演奏となりました。演奏に協力して下さった卒業生に感謝します。



夏休み明け集会の中で、中学部の代表生徒も述べていましたが、本校の和太鼓演奏は、まさに台湾と日本の友好関係の発展に貢献するものであると感じます。中学部生徒の皆さんが、ますます和太鼓演奏の腕に磨きををかけていってくれることを期待します。出演した生徒、卒業生の皆さん、ありがとうございました。